

2017年9月30日

「怖い絵」展 東京会場

アニメ「紙兎ロペ」とのコラボグッズ販売決定

10月1日からJR上野駅構内「上野ランド」で先行発売

兵庫県立美術館で9月18日まで開催され、27万人の来場者を記録した話題の美術展「怖い絵」展が、10月7日から東京・台東区の上野の森美術館で開催されます。

東京開催に合わせて、「怖い絵」展は、アニメ「紙兎ロペ」とのコラボレーションが決定。コラボレーション企画第1弾として、アートフレームガチャ、クリアファイル、キーホルダー、など、各種グッズを販売します。

「怖い絵」展東京会場の開幕に先駆けて、10月1日（日）よりJR上野駅構内の「上野ランド」では、アートフレームガチャ（税込400円）を先行発売。いち早く「怖い絵」展とコラボした紙兎ロペの“怖さ”と“かわいさ”が融合した世界をお楽しみいただけます。



■紙兎ロペ

下町を舞台に、紙兎「ロペ」と紙リス「アキラ先輩」の2人の、なにもないようでいて、それなりに楽しい日常を描くショートアニメーション。シュールでゆるい会話による独特の世界観が人気を呼んでいる。フジテレビ系「めざましテレビ」で月曜から金曜の毎日放送中。

公式サイト kamiusagi.jp

■「怖い絵」展とは

絵画をただ見るだけでなく、モチーフや時代背景などをひもときながら秘められた

エピソードを紹介し、斬新な美術解説書としてブームを巻き起こしたドイツ文学者、中野京子氏による『怖い絵』シリーズ。本展は2007年の第一作刊行10周年を記念して企画されました。

中野氏自らが特別監修をつとめる本展では、シリーズにも登場した大作「レディ・ジェーン・グレイの処刑」が初来日を果たします。「9日間の女王」の異名を持ち、権力争いの果てにわずか16歳で断頭台の露と消えたイングランド初の女王、レディ・ジェーン・グレイ。その最期をドラマティックかつ超絶技巧で描いた本作は、ロンドン・ナショナル・ギャラリーを代表する作品の一つです。その貴重さ、またタテ2・5メートル、ヨコ3メートルという巨大さからヨーロッパでも数回しか貸し出されることのなかった作品ですが、度重なる交渉の末に、今回奇跡的に来日を実現させました。

シリーズ登場作以外にも、セザンヌやターナーなどの巨匠の作品をはじめ、本展のためにセレクトした西洋名画が登場。国内外25を越える美術館などから約80点が結集します。

「怖い絵」シリーズの世界観を美術展でも楽しめるように、絵画鑑賞のヒントも併せて展示。かつてない知的好奇心に満ちた内容となっています。

■「怖い絵」展 東京会場

会場：上野の森美術館（東京都台東区上野公園1-2）

会期：10月7日（土）～12月17日（日）※会期中無休

料金：一般1600円（1400円）、大学・高校生1200円（1000円）、中学・小学生600円（500円）、小学生未満無料。カッコ内は前売り券・団体券

主催：産経新聞社、フジテレビジョン、上野の森美術館

問い合わせ：上野の森美術館（TEL03・5777・8600、全日10：00～17：00）

公式サイト：<http://www.kowaie.com>

■上野ランド produced by KENELEPHANT エキュート上野店

住所：〒110-0005 東京都台東区 上野7-1-1 JR 東日本上野駅構内3階

問い合わせ：株式会社ケンエレファント（TEL03・5259・5372）